

KAYABA Rally Team 参戦レポート



大会概要

日程: 2023年9月8日(金)~9月10日(日)
 主催: AG.メンバーズスポーツクラブ北海道
 場所: 北海道十勝地方(帯広市~陸別町周辺)
 (サービスパーク: 北愛国交流広場/陸別サーキット)
 路面: 総走行距離 661.00km/SS距離 117.22km
 SS数 12本/未舗装(グラベル)

【LEG1】9月9日(土) 天候/路面: 晴れのち雨/ドライ⇒ウェット
 【LEG2】9月10日(日) 天候/路面: 曇りのち晴れ/ウェット⇒ドライ

Rally start	06:00	Parc Ferme OUT	07:00
SS1 RIKUBETSU LONG 1	08:02	Service C(15min.)	07:03
SS2 YAM WAKKA 1	08:38	SS9 OTOFUKE REVERSE 1	08:03
SS3 PAWSE KAMUY REVERSE 1	09:54	SS10 SSS IKEDA 1	09:00
SS4 RIKUBETSU LONG 2	10:49	Service D(20min.)	09:48
Service A(20min.)	10:56	SS11 SSS IKEDA 2	11:33
SS5 YAM WAKKA 2	12:04	SS12 OTOFUKE REVERSE 2	12:18
SS6 PAWSE KAMUY REVERSE 2	13:30	Service E(10min.)	13:02
SS7 RIKUBETSU LONG 3	14:26	Podium Finish	13:27
SS8 YAM WAKKA 3	15:02		
Service B(45min.)	17:48		
Parc Ferme IN			

LEG1 Totals : 480.13km

LEG2 Totals : 180.87km

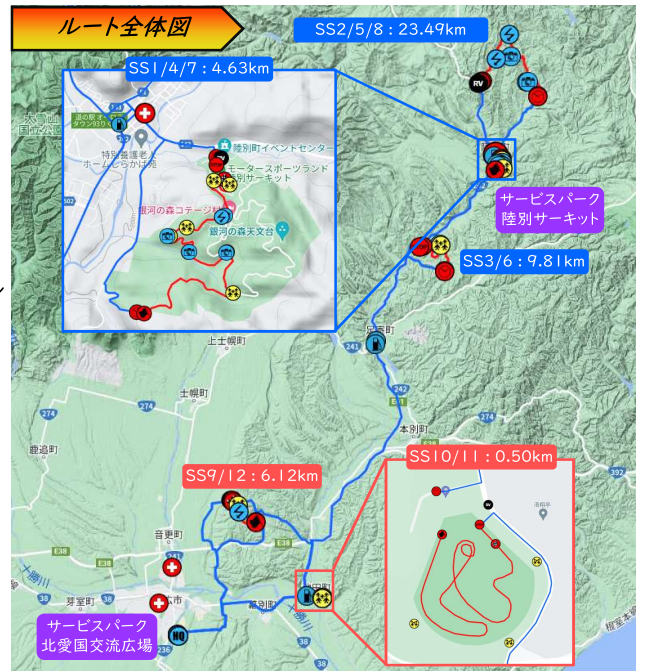
ラリーダイジェスト

【正式結果】JN-2クラス リタイア 全体エントリー74台(FIA/OPクラス含む) クラスエントリー11台 全体完走52台 クラス完走6台

カヤバGRヤリスは晴天に恵まれた北愛国サービスパークをスタートし、100kmほど離れた陸別町にあるSS1へ向かった。クラス8位とまずまずのスタートを切り、続くSS2ではポジションアップを狙ったかったが、後続車の結果が次々と速報に流れる中、カヤバGRヤリスの結果が表示されず、少し時間が経ってから掲示板に“リタイア”の文字が掲示された。電波の無い山の中に閉じ込められた為、クルーからの連絡は無く、クラッシュかマシントラブルかリタイアの原因が分からない時間が続いた。遠山からサービスに連絡が入った時にはリタイアから既に5時間が経過し、その原因がエンジンプローであると分かった。LEG1全過程が終了し、サービスクルーは石田とマシンの救出に向かった。そこにはこれまで激しくも厳しいラリーを戦い抜き、力尽きたカヤバGRヤリスの姿があった。発見した時、既に10時間以上が経過し、辺りは日が暮れていた。LEG2リスタートへ望みを繋げたいメカニックはマシントラブルの原因を究明しようとボンネットを開けた。ただそのダメージと損傷状態からその場での修復作業は不可能と判断し、LEG2リスタートが切れず完全リタイアを喫した。

エンジンプローの原因調査をした結果、何かしらの過大な衝撃もしくは積み重なった疲労によりラジエータ(放熱装置)の一部に亀裂が入り、クーラント(冷却水)が徐々に漏れ、エンジンやタービンを冷却する機能を失いオーバーヒートとなり、エンジンプローに至ったと考える。

次戦最終戦のラリーハイランドマスターズの参戦に向け、KAYABA Rally Teamは準備に邁進する。





KAYABA Rally Team 参戦レポート



■ Dr. 石田 雅之 コメント

前回の「ラリーカムイ」の後にチームのテストに参加し、ダンパーを中心により良い方向へとカヤバGRヤリスも進化することができました。その集大成でもあった今回のラリー北海道は序盤のSS2でマシントラブルによりリタイアとなってしまう、残念な結果となりました。本来であればグラベルラリーで最もハードな「ラリー北海道」での20分サービス、いつもと異なるフレキシサービスなどを経験してもらいたかったのですが、結果的に完走できずにリタイアとなってしまう大変残念です。



■ Co.Dr. 遠山 裕美子 コメント

「初めまして」から数回のテストを経て3回の全日本ラリーに挑戦しました。当初は「どんな人達なんだろう?」と声もかけられず(?)ばかりでしたが、テストやラリーをこなしていくうちに皆さんの人柄に触れ、「言われてから動く」から「何をすべきか自ら動く」「自ら気付きにいく」に変化していきました。さらに、個人判断ではなく皆で相談して動く、互いにフォローし合う、準備を進めるなど、手探りだったチームがひとつの「チーム」という塊にグレードアップしているように感じました。伸び代がさらに増えたように思えます。「本番が一番の練習」と良く言います。ラリー北海道では残念な結果になってしまいましたが、様々な現場で色んな「経験」や「気づき」があると思います。その時だけの経験に収めずに今後の活動に活かして欲しいです。カヤバラリーチームの皆様に出会えて、共に同じ方向に向かった時間はとても貴重な経験でした。素敵に思います。ありがとうございました。

■ チーム体制

- チーム : KAYABA Rally Team
- 車名 : カヤバ GRヤリス
- 監督 : 梶本 一憲
- チームアドバイザー : 奴田原文雄
- ドライバー : 石田 雅之
- コ・ドライバー : 遠山 裕美子
- チーフエンジニア : 松下 雄介
- チーフメカニック : 山田 淳一 (RUTS RACING)
- エンジニア : 柴田
- メカニック : 長江、増谷、松田、三國
- マネージャー : 伊藤、田中 (UNDY)
- サポート : 濱崎/松尾/喜谷 (KTMS)、畦地



2023年 JAF全日本ラリー選手権 第7戦 RALLY HOKKAIDO



KAYABA Rally Team 参戦レポート



写真は他にもたくさんございます ご連絡お待ちしております

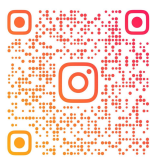


原点を見つめることが、
未来を目標す力になる。

未来を見つめることが、
今日を変えていく力になる。



カヤバ株式会社
公式YouTube



カヤバ株式会社
公式Instagram



カヤバ株式会社
公式X(旧Twitter)

2022年4月より、「KYB株式会社」は
通称社名を「カヤバ株式会社」といたします。

Kites rise highest against the wind - not with it. Winston Churchill

